

風しん抗体価が低い成人の方を対象に

風しん予防接種の費用を一部助成します

天塩町では、妊娠初期の風しん感染による「先天性風しん症候群」の発生を未然に防ぐため、風しん予防接種の費用の一部を助成します。

【対象者】 天塩町に住民票があり、下記のいずれかに該当する方

① 北海道風しん抗体検査事業における検査の結果、抗体価が低い者

《北海道風しん抗体検査事業の対象者》

- ・ 妊娠を希望する出産経験のない女性
- ・ 妊娠を希望し、出産経験がなく、かつ抗体のできない女性の配偶者（事実上婚姻関係のあるものも含む）並びに同居者
- ・ 妊婦（抗体価の低い）の配偶者並びに同居者



② 過去の妊婦健診で風しん抗体価が低く、妊娠を希望する女性

- ※ 抗体価が低い者とは、EIA法の場合 8.0 未満、HI 法の場合 16 倍以下の方です。
- ※ 妊娠中の方は予防接種を受けられません。また、ワクチン接種後 2 ヶ月間は妊娠を避けてください。

【料 金】 1,500円（風しん単抗原ワクチン）

- ※ 麻しん風しん混合ワクチンの接種も可能です。（料金はお問い合わせください。）

【実施場所】 天塩町立病院（町外の医療機関の接種は助成対象外です）

【申し込み先】 希望される方は、印鑑を持参し「役場福祉課ふれあい係窓口」で助成の申請を行ってください。

- ※ 対象者①の方は、申請書に抗体検査結果の記載（検査実施医療機関の証明）が必要です。
- ※ 対象者②の方は、妊婦健診の結果を記載している母子手帳を持参してください。

※「先天性風しん症候群」について

妊娠初期の女性が風しんウイルスに感染すると、お腹の赤ちゃんも風しんウイルスに感染し、難聴・心疾患・白内障等の障がいをもって生まれてくることがあります。これらの病気を総称して「先天性風しん症候群」といいます。

※風しんの症状について

主な症状は発熱と赤い発疹、リンパ節の腫脹等です。大人の患者の3割に高熱が出たという報告もありますが、その一方で感染しても症状が出ない場合もあります。知らない間に感染し、周りの人にうつしてしまう可能性のある感染症です。

※風しんの流行について

平成24年頃から流行し始め、平成25年は関東や近畿地方を中心に14,000人を超える流行となっています。患者の7割以上は男性で、その多くが20代～40代です。この年代の男性は子どもの頃に予防接種の対象ではなかった方が多く、抗体のない方がほとんどです。

（昭和54年4月2日～平成7年4月1日生まれの男女は予防接種の接種率が低く、昭和54年4月1日以前生まれの男性は子どもの頃に定期接種を受ける機会はありませんでした）

【問合せ・申込み】 天塩町福祉課ふれあい係 （電話 2-1728）